学校番号	２０２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・高等学校における「書道」の最終段階として表現・鑑賞の各活動をより一層深めるとともに、生涯学習につなげていきます。
・自身の表現として書作品を制作し、表現することの意味を考えます。
・書作品を鑑賞することで、感性を高め、鑑賞力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

漢字仮名交じりの書・漢字の書等の書道の諸活動を通して、書道文化と広く関わる資質・能力を育成することをめざす。
(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。
(2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けている。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	作品制作①	・色々なサイズの紙で作品を制作する。	a: 作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け、表している。 b: 各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c: :題材の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 作品	観察 ワークシート 作品	観察 作品 振り返りシート
	作品制作②	・文化祭に向けて作品を制作する。 各自で題材を決めて作品制作をする。	a: 作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け、表している。 b: 各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c: :題材の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 作品	観察 ワークシート 作品	観察 作品 振り返りシート
2学期	作品制作③④	・半切 1/2 等大きなサイズの作品を制作する。	a: 作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け、表している。 b: 各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c: :題材の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 作品	観察 ワークシート 作品	観察 作品 振り返りシート

3学期	卒業記念作品の制作・鑑賞会	・高校書道の総まとめとしての作品を制作する。 各自で高校生活の最後の作品にふさわしい題材を決める。 ・作品を表装して卒業記念作品の授業内鑑賞会を行う。	a: 作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け、表している。 b: 各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c: :題材の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 作品	観察 ワークシート 作品	観察 作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度